

学校教育委員会の活動

学校教育委員会は、地球科学の研究成果を教育機関・教育関係者を通じて社会に還元することを目的として、平成7年（1995年）兵庫県南部地震の発生を機に設立されました。現在の委員は、高校教員4名、小学校教員1名、大学教員3名、研究開発機関の研究員1名の計9名です。

本委員会の主な活動は、教育関係者相互、および研究者と教育関係者間の交流の場となるネットワークを構築したり、教育関係者への情報・データを提供したりすることです。その一環として、1996年以降、教員や教員志望の大学生を対象とした「教員サマースクール」を行ってきました（2020～2021年はCOVID-19等のため、オンラインでの「教員ウィンターミーティング」を実施）。2009～2021年には「教員免許状更新講習」を、学会員の協力を得て毎年全国の約10か所で開催しました。また、秋季大会に合わせた「地震の教室」（教材等を紹介する教員向け教室、地震計を手作りする親子向け教室）を2014年から2024年までの間に計8回開催してきました。今年度から「地震の教室」は、各地の学校教員が集まるイベントに出展する形式に変更しました。

教員サマースクール

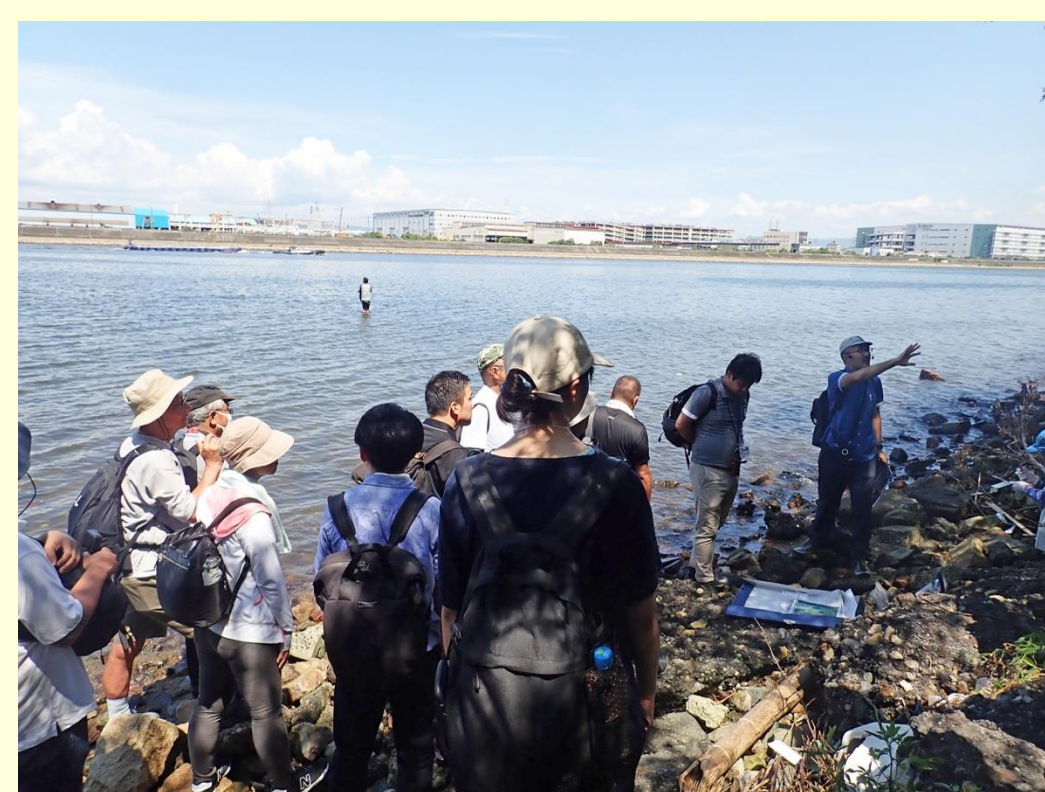
「みちのくで学ぶ大地の息吹 ―2008年岩手・宮城内陸地震の痕跡をめぐる―」（2024年8月21日～23日）

今年度の教員サマースクールは、岩手県一関市および宮城県栗原市の震災遺構やジオパーク関連施設を訪ねました。小・中・高の教員の方々と大学院生など13名が参加しました。

2日間のスクールでは、祭時大橋・磐井川河道閉塞対策地、地表地震断層の露頭（岡山・栂木立）、栗駒山麓ジオパークビジターセンター・駒の湯温泉・荒砥沢地すべり地で見学や野外観察を行いました。3日目はオプションルツアーとして荒砥沢地すべり地内の立ち入りが制限されているエリアを見学しました。



2025年 教員サマースクール



2024年 教員サマースクール

■最近の開催内容（2009～2019年は教員免許状更新講習と合わせて開催）

2019年 「跡津川断層と神岡鉱山―地球の息吹きを探る―」

2022年 「妖怪の足音ききくらべ ―地震計をもって境港と溶岩の島をあるく―」

2023年 「伊豆衝突帯 ―丹那断層や地震観測点を巡る―」

2024年 「平成7年（1995年）兵庫県南部地震による災害のその後と今後の大地震への備え in Osaka」

地震の教室

2014年～2024年の間に計8回、地震の教室（親子向け）および地震の教室（教員・一般向け）を開催してきました。親子向け教室は地震計などを手作りする教室で、関西地震観測研究協議会広報分科会の協力を得て実施したものです。教員・一般向けでは小・中・高校教員を主な対象に地震に関する教材等を紹介しました。

■最近の開催地

2023年11月3日 はまぎん こども宇宙科学館

2024年10月20日 新潟県立自然科学館



2023年の会場のようす



全国理科教育大会盛岡大会での地震の教室

2024年からは、各地の教員が集まるイベントにおいて、地震に関する教材等を紹介するブースを出展する形式にしています。

■最近出展したイベント

2025年4月27日 科学教育研究協議会神奈川支部

「第29回 神奈川の理科教育を考える集い」

2025年8月8日 全国理科教育大会岩手大会（日本理化学協会主催）科学の広場

2025年8月21日 埼玉県私学協会理科教育研究会 研修会